

2020年9月16日 第340号

# 憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター  
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)  
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会 臨時国会開会日行動に300人

「安倍政治」の継承を許さない！

いのちに寄り添う、社会・政治に転換しよう！

安倍内閣が総辞職し、菅内閣が発足する前の9月16日昼、総がかり行動実行委員会は、「いのちを守れ！臨時国会は本格的な議論を！安倍政治の継承を許すな！敵基地攻撃能力保有反対！市民と野党の共同で政治を変えよう！9・16臨時国会開会日行動」を行いました。300人もの市民や労働者が参加し、安倍政治の継承を許さず、市民と野党が共同し、政治を転換させていくために奮闘する決意を固めあいました。立憲野党からは、日本共産党の小池晃参議院議員、沖縄の風の高良鉄美参議院議員、立憲民主党の泉健太衆議院議員、社会民主党の福島瑞穂参議院議員があいさつしました。

憲法9条を壊すな！実行委員会の高田健さんが主催者あいさつ。

「安倍首相は、敵基地攻撃能力の保有についての談話を出した。菅氏は継承すると言っている。許されない。市民と野党の共闘をさらに深め、総選挙勝利のために奮闘しよう」と呼びかけました。

4人の市民がスピーチ。日本キリスト教協議会(NCC)の金性済(キム・ソンジェ)総幹事は、「安倍首相や自民党はコロナを理由に憲法に緊急事態条項を盛りこもうとしている。いのち、自由、三権分立が脅かされる。許すことはできない」と訴え、市民連合の福山真劫さんは、「安倍政治の継承を許すわけにはいかない。衆議院選挙では野党共闘で勝ちたい。政策合意で候補者を一本化し、菅政権を倒そう」と強調しました。

共謀罪NO!実行委員会・MIC(日本マスコミ文化情報労組会議)の岩崎貞明事務局長は、「まだ大臣に決まったわけでもないのに、ニュースなどで閣僚が報道されている」とマスコミの報道姿勢を批判。止めよう！辺野古埋立て国会包囲実行委員会・青木初子さんは、「安倍首相は、沖縄の民主主義、いのちをふみにじってきた。許すことはできない。コロナでも米軍基地から出入り自由で感染を拡大させた。防衛省が出した辺野古埋立て『変更承認申請書』を沖縄県が『不承認』とするよう、意見書を出してほしい」と訴えました。

戦争をさせない1000人委員会の藤本泰成さんが行動提起。「批判を許さない、議論をしない、憲法13条をまったく無視し、市民のいのちを尊重しない、尊厳を踏みにじる安倍政治を菅政権が継承するなどんでもない。いのちに寄り添う社会と政治、私たちのもとに日本を取り戻そう」と訴え、19日行動、日朝ピョンヤン宣言18周年集会などへの参加を呼びかけました。



## \*当面の行動

9月19日(土)～25日(金) 憲法共同センター「憲法いかして、いのちと暮らしを守れ! 全国統一週間 各地で取り組みの具体化を」

9月17日(木) 日朝ピョンヤン宣言18周年集会 18時30分～ 文京区民センター

9月19日(土) 憲法共同センター 戦争法強行5年宣伝 12時～ 新宿駅西口

9月19日(土) 総がかり行動実行委員会「19日行動」15時～ 国会正門前(共同センターは南庭前)

9月25日(金) 憲法共同センター総会 18時～ 全労連会館2階ホール